

会議詳細

開催日時	令和8年3月19日（木曜日）午後6時30分から7時15分まで
開催場所	長久手市文化の家 企画室A B
出席者氏名	10名中10名出席 委員長 梶田 美香 委員 川北 眞紀子 委員 佐藤 文子 委員 渡邊 玲雄 委員 浅野 芳夫 委員 加藤 千恵 委員 唐澤 美穂 委員 野田 かなえ 委員 大村 真也 委員 小林 大地 (事務局) くらし文化部次長兼文化の家館長、生涯学習課施設係長、同事業係長、施設係主任、事業係会計年度任用職員
審議の概要	1 あいさつ 2 報告事項 (1) 文化の家管理運営報告 (2) 文化の家自主事業報告 3 議題 (1) 令和8年度文化の家自主事業計画書について (2) 住民企画支援事業の実施について 4 その他
欠席者氏名	なし
公開非公開の別	公開
傍聴者人数	1人
問合せ	長久手市くらし文化部生涯学習課 電話：0561-61-3411

議事要旨

- 1 あいさつ
くらし文化部次長兼館長あいさつ
- 事務局
会議成立を確認。以降の進行を委員長へお願いする。
- 2 報告事項
(1) 文化の家管理運営報告
- 事務局
【資料1及び資料2に基づき説明】

○委員長

改修や利用再開後の状況について報告いただいた。今の報告事項について意見、質問等あるか。

確かに

○委員

クレジット決済について確認したい。クレジットカードで支払いした人が、利用キャンセルされて返金する場合、銀行振込でお返ししているのか。

○事務局

銀行口座への振込で対応している。

○委員長

キャッシュレス決済は今年から開始したのか。

○事務局

2025年9月から。

○委員

まだ周知もこれからということか。

○事務局

キャッシュレス決済ができることを徐々に知っていただき、窓口に来る負担を減らしていきたい。

○委員

和室の畳の状態が良くなかったが、今回の改修で新調されたのか。

○事務局

新調はしていない。

○委員

今回の改修工事では、裏返しや表替えなどしていないのか。

○事務局

今回の改修では、和室の畳については新調等していない。今後状況を見ながら、修繕などの判断、検討をしていきたい。

○委員

老朽化により、座ると衣服などに付着することがあるので、今後検討していただきたい。

(2) 文化の家自主事業報告

○事務局

【資料3に基づき説明】

○委員

今の報告事項に関して、意見・質問等あるか。

○委員

相変わらず素晴らしい内容だ。前回の臨時運営委員会で事務局の現状を知り、職員が疲弊してたらどうしようと思っていたが、相変わらず高い質と独自性を保っている。他の施設では実現困難であろう事業が非常に多い。

KONTONの空間づくりが、報告書にあるような低予算で実現できることが驚異的である。さらに地域の様々な人を巻き込んでいるのがよい。休館中に劇場の外へ出て事業を展開することで、いろんな味方・ステークホルダーとの関係性が形成できると良いと思っていた。

以前からこの会議でも資金獲得についてたびたび話題に上がっている。稼ぎ方は、商業的になりすぎる必要はないが、いろんなどころから支援してもらったり、参加者から料金を徴収したり、モノが売れたら手数料10%もらったりとか、主催者だけではなく、アーティストや関わる人たちにお金の意識を持ってもらったほうがよい。文化行政にとって、マーケティングはネガティブな印象を持たれがちだが、資金マネジメントも考えながらやっていただきたい。

事務局が手弁当で無理をしているように見受けられる。それも素晴らしいことではあるが、企業、店舗、お客さんにお金の面での支援を訴えていかないといけない。だから、情報公開の必要性を訴えている。

○事務局

参加アーティストの低予算での協力という部分もあって、今回のイベントは成り立っている。地元アーティストがいないと実現できない。東京からアーティストを招へいして開催するという発想では、実現は厳しかっただろう。地域のみなさんに支えられて何とかやっている実感できるイベントだった。

○委員

来場者は、入場無料だと思っているが、これだけの労力がかかっていることをわかってほしいと思った。

○事務局

神社の氏子総代さんたちは好意的に今回のことをとらえてくれた。来年もやってほしい、という話があった。文化の家に興味を持ってくださったという声も実際に聞いた。

○委員

仲間とか味方が増えたイベントとなり、とてもよかった。

○事務局

野外劇場は休館を契機に始まったものではあるが、開館後もできれば同様の事業を継続的にやっていきたい。

○委員

人との繋がりについてひとつ言及しておきたい。コロナ禍で多くのイベントが中止・延期になっていた時期に、おそらく文化の家が最初にアーティスト支援をしようとアイデアを打ち出した。主催者がイベントを中止する場合、出演者への支払いも行わないこともよくあった。ところが、当時の文化の家事務局長は公演が中止になったとしても、とにかくお金を払ってあげたいんだと訴えていた。その強い姿勢は我々もすごい勉強になった。そのような考えに至った根源には、人との繋がりや強さがあったと思う。そういうところが文化の家の素晴らしいところだ。

○委員

この委託費というのは、KONTONの会場設営費のことか。

○事務局

例えば椅子を持ってきてもらって並べるというの、委託費から支出している。

○委員

企画もここから支出しているか。

○事務局

企画は事務局で立てている。あとは出演料も委託費から支出している。実際にアーティストへ支払いする際もこの公演をやってくださいと委託している。

3 議題

(1) 令和8年度文化の家自主事業計画書について

○事務局

【資料4に基づき説明】

○委員長

今の説明事項に関して、意見・質問等あるか。

○委員

保育園美術アウトリーチに準ずる話がある。来年度、保育園の部屋が半分空くので何かして欲しいと相談されている。文化の家の企画で何かできないか、と思っ
ているがどうか。1年間部屋が空くので、何か自由に絵をかいたり、何かそこで作っ
たり。文化の家や愛知芸大の協力を得て取り組んでみたい。

○事務局

どこの保育園か。

○委員

長湫東保育園である。令和8年度末で閉園となるので、青組以外の部屋が閑散と
してしまおうて言っていた。

○事務局

ぜひ相談をさせてください。

○委員長

原案のまま採用としてよいか。

○委員（全員）

異議なし。

(2) 住民企画支援事業の実施について

○事務局

【資料5に基づき説明】

○委員長

要綱に沿って募集を行い、応募があったということか。

○事務局

そのとおりである。本事業は市民が申請できるものである。

○委員

文化の家としての支援内容はどのようなか。

○事務局

主には会場の提供である。費用面での支援は一切ない。市が会場を提供し、そこで申請者が事業を展開することになる。もちろん、広報の協力も行う。

○委員

それでは、本事業の実施について、委員から意見等あるか。ちなみに、入場料はどれくらいを想定しているのか。

○事務局

まだ未定である。事務局から金額の具体的な指定・制限は行わない。ただし、文化の家で開催するため、一般市民が足を運びやすいチケットの値段設定にしてほしいと要望はしている。例えば、8000円となってしまうと、行きたい人は少なくなってしまう。文化の家自主事業公演と並べても違和感のない金額にしてほしいとも伝えている。

○委員

原案のまま採用としてよいか。

○委員（全員）

異議なし

4 その他

○委員

議題は以上である。その他、委員から何かあるか。

○委員

おんぱくについてだが、今までやってきたものが根づいてるから長期間にわたり続いていると思う。このような事業に新たに参加したいという希望が学生等からあった場合、それはかなうものか。

○事務局

現時点では、どのようなテーマで開催するのかを相談している段階である。具体的な方向性が決まってきたら、ご協力いただけそうなことについて、委員のみなさまからも情報がいただけるとありがたい。